

2025 年 10 月 17 日

【SUPER GT 第 7 戦 / オートポリス】 大会直前情報



2025 年の SUPER GT 第 7 戦は、大分県にあるオートポリスで開催されます。今大会は、サクセスウェイトが獲得ポイント×1kg となり、GT500 クラスでは「リアライズコーポレーション ADVAN Z(松田次生選手／名取鉄平選手)」が 21kg のウェイトを搭載して今大会に挑みます。

リアライズコーポレーション ADVAN Z は、前戦 SUGO 大会で予選 5 位から最終ラップでの劇的な逆転でトップフィニッシュを飾り、チームとして 9 年ぶりの優勝を果たしました。 [【その模様はこちらの動画】](#)

天候不良により 1 デイイベントとなった昨年のオートポリス大会では、公式予選で名取選手がトップタイムをマーク。低温度のウェットコンディションから徐々に乾いてくる難しい路面状況の中、ドライタイヤのパフォーマンスを十分に発揮し GT500 クラスで嬉しい自身初ポールポジションを獲得しました。残念ながら決勝レースではトラブルに見舞われ優勝を逃しただけに、前戦勝利の勢いも借りて、1 年前のリベンジを目指します。

以下、今大会に挑む KONDO RACING の選手 2 名のコメントをご紹介します。

■ 松田次生選手(KONDO RACING)

【前戦 SUGO で自身 GT25 勝目を記録】

昨年のオートポリスは予選でポールポジションを獲得し、決勝では最終的にマシントラブルで完走できませんでしたが、ファーストステントではトップをキープしたまま力強いレースができました。「レースで強いタイヤ」をコンセプトに開発を進め、開幕戦では予選 3 位。SUGO ではチームとして 9 年ぶり、僕自身は通算 25 勝、そして名取選手にとって GT500 初優勝を果たすことができました。この勢いを維持して、チーム一丸、名取選手とともに優勝争いできるように頑張ります。

■ 名取鉄平選手(KONDO RACING)

【GT500 クラスで自身初優勝】

SUGO 大会で優勝した勢いをそのままに、オートポリス大会も攻めの姿勢で挑んでいきます。オートポリスは昨年ポールポジションを獲得していますし、自信を持っているサーキットです。チーム一丸となって 2 連勝を狙っていくので、熱い応援をよろしくお願いします。

GT500 クラスのもう 1 台、は「WedsSport ADVAN GR Supra (国本雄資選手／阪口晴南選手)」は、今シーズン久々に復活した海外戦マレーシア大会でポールポジションを獲得し、決勝では 5 位入賞。スプリントフォーマットで開催された第 4 戦富士大会でもポールポジションを獲得してその速さを印象付けました。今大会、ランキング上位陣は重量級のサクセスウェイトを搭載しており、ウェイト 13kg の 19 号車は優勝争いに加わるチャンスです。

GT300 クラスでは、平手晃平選手がドライバーランキング 2 位に着けている「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(ジョアオ・パオリ・デ・オリベイラ選手／平手晃平選手)」(※オリベイラ選手は欠場大会があるためランキング 8 位)、同 3 位の「グッドスマイル 初音ミク AMG(谷口信輝選手／片岡龍也選手)」、そして同 5 位の「CARGUY FERRARI 296 GT3(ザック・オサリバン選手／小林利徠斗選手)」が最大重量となる 50kg を搭載。さらに給油リストラクター径の調整も行われます。

チームランキングでは、グッドスマイル 初音ミク AMG を走らせる GOODSMILE RACING & Team UKYO が 2 位と 7.5 ポイント差でトップに立ち、リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R の KONDO RACING が、トップと 11 ポイント差の 3 位に着けています。いずれのチームもダブルタイトルの可能性がかかり、ウェイトを搭載するシーズン最後の戦いとなる今大会での結果は非常に重要。まだまだ大きいハンディを背負っているものの、シリーズチャンピオンをたぐり寄せるため上位フィニッシュを目指します。また、チャンピオンナンバー「0」をつける「VENTENY Lamborghini GT3(小暮卓史選手／元嶋佑弥選手)」は、昨年のオートポリスで逆転勝利を収めており、今回も好成績を狙います。

今大会もヨコハマ勢へのご声援をよろしくお願いいたします。

